

## 持続可能な地域を育むには？



5人のキーパーソンと学びあう

# デザイン思考から考える ESDと環境教育

持続可能な地域づくりの担い手育成が求められる中、  
地域や学校での奮闘が、なかなか学び手の実践に結び付かないことにお悩みの皆さん！  
これからの普及啓発・環境教育において、  
どんなチカラを、どのような方法で身につけていけばよいのか、  
「デザイン思考※」をベースに探究学習を実践する青翔開智中・高等学校で、  
改めてESD※について、一緒に考えてみませんか。

※デザイン思考 (Design Thinking)

ターゲットの潜在的な課題を発見し、それを「How Might We...? (私たちはどうすれば～できるか?)」という姿勢で、試行錯誤しながら課題解決を目指す探究型アプローチ方法。AppleやGoogleも採用。

※ESD (Education for Sustainable Development/持続可能な開発のための教育)

持続可能な社会づくりの担い手を育成することを目的とし、環境・貧困・人権・平和・開発といった様々な地球規模の課題に対して、一人ひとりが自分にできることを考え、実践していくことを身につけ、課題解決につながる価値観や行動を生み出していく学習や活動で、世界中で取り組まれている。

2019. 2. 23. sat 13:30-16:30

### 会場

学校法人鶏鳴学園  
青翔開智中学校・高等学校  
(鳥取県鳥取市国府町新通り 3-301-2)

### 対象

- 環境教育・持続可能な地域づくり・ESD を実践している、実践したい、その支援を行っている、関心がある方
- 地域や世界で取り組まれている、教育活動に関心のある方

定員  
30名

締切  
2/20

共催：鳥取県地球温暖化防止活動推進センター、環境省中国環境パートナーシップオフィス (EPOちゅうごく)  
協力：青翔開智中学校・高等学校、公益財団法人とっとり県民活動活性化センター、中国地方ESD活動支援センター  
後援：鳥取県、鳥取県教育委員会

# プログラム

## 13:30 開会、オープニング

### セッション1 青翔開智中学校・高等学校の取組紹介

学校案内や高校生の活動紹介を通して、青翔開智中学校・高等学校のカリキュラムや学習環境、学びの効果について体感する。

### セッション2 ゲストトーク

ゲストから世界や地域の教育現場における課題発見・解決型学習や環境教育に関する実践活動・研究について聞き、取組のヒントを探る。

### セッション3 ワークショップ

持続可能な地域を育むために必要なチカラやそれを培う教育活動の課題について、ゲストと一緒に交流しながら学びあう。

## 16:30 クロージング、閉会

# 講師プロフィール

## 交流ゲスト



### 織田澤 博樹氏

青翔開智中学校・高等学校 副校長  
チーフプランナー

電気通信大学大学院を修了し、日立製作所にて災害救急システムの開発を担当する。その後、キャラクタービジネスの世界へ転身し、玩具やイベント、キャラクターミュージアムの企画に参画する。2012年から青翔開智中学校・高等学校の設立に従事。現在は教員としてデザイン思考をベースとした課題解決型の授業を展開するとともに、副校長として学校経営にも関わる。



### 山本 秀樹氏

元ミネルバ大学日本連絡事務所代表

東し、3Mで航空宇宙、自動車・電子部品・土木建築・スポーツ分野などで新規製品開発を経験。プーズ・アンド・カンパニー（現 PwC Strategy&）では大手企業の経営戦略を支援。2014年にAMS 合同会社を設立、コンサルティング活動と並行し、2017年まで Minerva Schools at KGI（ミネルバ大学）日本連絡事務所代表を務めた。著書「世界のエリートが今一番入りたい大学 ミネルバ」（ダイヤモンド社）。慶應義塾大学経済学部卒業。ケンブリッジ大学経営管理修士（MBA）。



### 高橋 敬子氏

立教大学社会学部教育・研究コーディネーター  
立教大学ESD研究所

立教大学異文化コミュニケーション学修士（環境教育分野）。ドイツの自然保護センターでの研修をきっかけに、環境教育の評価に興味を持つ。環境NGO・NPO、高等教育機関、研究所等で小学生から大人、外国人を対象としたさまざまな環境教育・ESD事業の企画・運営、研究に携わる。現在は、立教大学ESD研究所でESD、気候変動教育の国内外での研究や実践活動を行いながら、NPO活動として持続可能な地域づくりに向けた取組を地域住民とともに行っている。



### 中前 雄一郎氏

サケの飼育放流プロジェクト代表  
海洋調査船ヤング丸船長

校長を退職後、漁師をしながら地域貢献プログラムを数多く手がける。『サケの飼育放流プロジェクト』では地域の環境保全と啓発、『海洋調査船ヤング丸』では希少種の調査と生物学会への提言、『天神川の魚を守る会』では在来イワナや在来ヤマメの調査保護活動、『東郷池メダカの家』では地域おこしを含めた環境教育推進等、各機関と協力しながら、様々な活動を展開している。

## コーディネーター



### 山本ルリコ氏

鳥取県地球温暖化防止活動推進センター副センター長  
特定非営利活動法人ECOフューチャーとっとり 専務理事

環境先進国ドイツで3年間の生活を体験した後、小学校で講師をしながら鳥取環境大学で科目履修生として、環境教育学・環境学を2年間学び単位を取得。2010年より温暖化防止センターの運営に携わり、地域での温暖化防止活動支援、家庭の省エネアドバイス、環境教育分野の人材育成、環境教育プログラムの開発・提供、持続可能なまちづくりを考える場の創出などを行っている。元幼稚園教諭。



### 松原 裕樹氏

環境省中国環境パートナーシップオフィス（EPOちゅうごく）  
中国地方ESD活動支援センター  
事務局長

# 申込方法

下記の申込事項〔お名前・ご所属・ご連絡先（TEL 又は Email）〕をご記入の上、TEL/FAX 又は Eメールでお申し込み下さい。

## お申し込み先

鳥取県地球温暖化防止活動推進センター（担当：松島）

TEL/FAX：0857-52-2700

Eメール：eco.f.tottori@gmail.com

お名前		ご所属	
ご連絡先	電話番号又はメールアドレス		